

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		療育ケアMARINE RAINBOW 本山				公表日	令和8年2月9日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・長期休暇には体育館を利用している。 ・活動スペースとしては狭いが、工夫して利用出来ている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・毎朝確認している。 ・毎朝朝礼にて配置を確認している。	・配置は満たしているが、時間帯や送迎先によっては人数的に厳しいと感じる時もある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・キッチンなどに入らないよう指導が行われ、ルールが守られている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・活動内容に合わせて考えている。 ・消毒などを行っている。 ・毎日掃除、洗濯を行っている。 ・定期的な消毒もされ、トイレや洗面台も清潔である。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・クールダウンの部屋（静養室）を設けている。 ・クールダウン部屋（静養室）を用意している。 ・2階の集まり部屋に机やソファを配置し、移動できるようにしている。 ・2階に集まり部屋があり使用可能。 ・2階で個別集まりが可能である。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	・活動後、その日の振り返りができている。 ・お昼のミーティングで行われる。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・ミーティングに力を入れている。 ・毎日ミーティングを行っている。 ・随時ミーティングを行い、気になる児童様について話している。 ・基本的に毎日ミーティングを行い、各々の意見を公表出来ている。 ・お昼のミーティングで行われている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・1～2か月に1回のペースで研修が行われている。 ・初任者研修が行われた。	・法で定められているものだけでなく直接支援に活かせる勉強会を開催してほしい。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・お昼のミーティングで全職員で行われている。	・公表する形はとれているが、一日を通してのプログラム等は不足していると感じる。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・定期的に個々の児童様に行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・ミーティングを行い、共有してから検討を進めている。些細な気になることも共有している。 ・会議を行っている。 ・お昼のミーティングで、共通理解を図っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・計画書に沿った個別支援会議を必ず開いている。 ・個別支援計画作成時に会議が開かれている。 ・お昼のミーティングで、共通理解を図っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・まだまだ不十分ではあると思うが、日々気になる点などは記録に残している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・具体的な支援内容の共通理解がなされている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・ミーティングを毎日開いている。 ・活動リーダーが中心となり、午後、スタッフ全員でミーティングする場を設けている。 ・毎日工夫しながら立案している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	<ul style="list-style-type: none"> 活動リーダーが中心となり、午後、スタッフ全員でミーティングする場を設けている。 内容が似ていることもあるが、ルール変更や人数変更で固定化しないようにしている。 児童様の状況に応じて、工夫しながら立案されている。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	<ul style="list-style-type: none"> 個別と集団活動がバランス良くなるように工夫されている。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	<ul style="list-style-type: none"> ミーティングにて、活動や児童様の対応の共有を行っている。 連携して、活動支援が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 戸外活動時はもっと密に行う必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> 翌日になることもあるが必ず共有している。 翌日の朝のミーティングで行っている。 事後の活動支援に活かされるように話し合いが行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 詳しい内容までは掘り下げられていない時もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	<ul style="list-style-type: none"> HUG上のケア記録を入力、共有している。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	<ul style="list-style-type: none"> 改善されるように見直しが行われている。 	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> 地域交流は出来ていない。 地域交流がまだ課題である。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	<ul style="list-style-type: none"> 自己決定を意思表示できるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員が先回りしがちである。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	<ul style="list-style-type: none"> お迎え時に担任の先生とコミュニケーションを取るようにしている。 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> 保護者様からの聞き取りのみ。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> 該当者なし。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 長期休暇時にしたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	2	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時、モニタリング時、電話等、情報共有を回っている。 送迎の際に情報交換を行っている。 日々の送迎の際に共有を行っている。 お送り時に保護者様とコミュニケーションを取らせて頂くようにしている。 		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	<ul style="list-style-type: none"> お送り時に保護者様のご意向をお伺いさせて頂くようにしている。 	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・お送り時に必要に応じて、保護者様とご面談させて頂いている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・送迎終了時に速やかに報告している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・新入社員が入ったので、再度改めて徹底していく。 ・鍵付きのロッカーにて管理。 ・保護者様への配布物を間違えないようにしている。	・児童様名、保護者様名は大きくした方がよい。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			・児童様や保護者様のお話をお聞きすることから始めている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		・職員のみにとどまっている。 ・職員には周知できている。 ・ご家族様には出来ていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・ご契約の際に、必要事項として確認している。	・服薬の種類が分からない児童様が多いため、把握していきたい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・送迎車の昇降時の安全に気を配っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		・事業所内での周知にとどまっている。今後はご家族様への周知に繋げていく。 ・送迎車の乗車時のシートベルトやマナーの保護者様との共通理解が必要だと思う。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	・その都度報告している。	・ヒヤリハットの作成で満足しているところがあるため、ミーティングで詰めて検討していく。 ・共有出来ていない場合がある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4				